



かなでからの初日の出



題字は 田中蘆雪さん

発行元  
社会福祉法人創樹会  
広島県福山市水呑町7187番地1  
TEL (084)956-0255  
FAX (084)956-5749

あけましておめでとございます。昨年も新型コロナウイルス感染症で始まり、ワクチン接種により収まりかけたものの、感染力の強いオミクロン株が猛烈な勢いで世界中に広がっています。わが国も水際対策の徹底強化と入国制限が実施されていますが、一月二三日になり市中感染が確認され、猛烈な勢いで感染が広まるのではと報道されています。確かに全国的にも新規感染者が激減し、規制解除で年末年始を楽しむ機運が高まり、当福山市でも一月二日より新規感染者ゼロが続いているとは言うものの他県では感染増加の見られる地域も出ていますので、気を休められる日々ではないように思われます。

行政からも「利用者への感染防止対策」の徹底、「インフルエンザの感染防止」喚起が再三要請され、常にマスクの着用や手洗い、手指消毒、換気、三密を避ける等、当たり前前の行動を続けることが基本だと言われています。

しかし、これまでのように「人と人との接触機会の低減」「外出機会の削減」「面会の中止」や「短期・日中一時の停止」となると、再び皆さんやご家族に大きなストレスを生むことが懸念され、今年も先の見えない不安な日々が続くことになりそうです。お互いに行き届く限り感染予防を工夫し、利用するみなさんや家族・職員各位に苦痛とならないよう心がけたいものです。

さて、昨年一月二日に思いがけず中国新聞社会事業団より「中国社会学功労賞」をいただきました。広島県知的障害者福祉協会のご推薦によるもので、大変ありがたい気持ちでいっぱいです。皆様から感謝申し上げます。

この受賞に際し「どうしてこの道に進むことになったのか」と問われ、自分でもハタと戸惑いましたが、幾つかある中、大きく二つのことに思い当たります。

一つは、体力作りにと軽い気持ちで参加した福山六方学園でのフレンズ・国際・ワークキャンプ

### 嬉しい時に

あけましておめでとございます。昨年も新型コロナウイルス感染症で始まり、ワクチン接種により収まりかけたものの、感染力の強いオミクロン株が猛烈な勢いで世界中に広がっています。わが国も水際対策の徹底強化と入国制限が実施されていますが、一月二三日になり市中感染が確認され、猛烈な勢いで感染が広まるのではと報道されています。確かに全国的にも新規感染者が激減し、規制解除で年末年始を楽しむ機運が高まり、当福山市でも一月二日より新規感染者ゼロが続いているとは言うものの他県では感染増加の見られる地域も出ていますので、気を休められる日々ではないように思われます。

行政からも「利用者への感染防止対策」の徹底、「インフルエンザの感染防止」喚起が再三要請され、常にマスクの着用や手洗い、手指消毒、換気、三密を避ける等、当たり前前の行動を続けることが基本だと言われています。

しかし、これまでのように「人と人との接触機会の低減」「外出機会の削減」「面会の中止」や「短期・日中一時の停止」となると、再び皆さんやご家族に大きなストレスを生むことが懸念され、今年も先の見えない不安な日々が続くことになりそうです。お互いに行き届く限り感染予防を工夫し、利用するみなさんや家族・職員各位に苦痛とならないよう心がけたいものです。

さて、昨年一月二日に思いがけず中国新聞社会事業団より「中国社会学功労賞」をいただきました。広島県知的障害者福祉協会のご推薦によるもので、大変ありがたい気持ちでいっぱいです。皆様から感謝申し上げます。

この受賞に際し「どうしてこの道に進むことになったのか」と問われ、自分でもハタと戸惑いましたが、幾つかある中、大きく二つのことに思い当たります。

一つは、体力作りにと軽い気持ちで参加した福山六方学園でのフレンズ・国際・ワークキャンプ

社会福祉法人創樹会 理事長 西山堅太郎

## 第66回中国社会学功労賞受賞のご報告



社会福祉法人創樹会 理事長

西山 堅太郎

### profile

1940年12月8日、山口県生まれ。68年広島大文学部卒。在学中に社会福祉施設でボランティア活動をしたことをきっかけに、70年に社会福祉法人六方学園の職員となり、73年、広島県知的障害者福祉協会理事。93年、「とっておきの芸術祭inふくやま」代表世話人。2006年、福山市障害者（児）施設連絡協議会常任委員。2011年から現職。2012年から福山手をつなぐ育成会理事長を9年務める。

### この道のはじめ

この道の出発点は、広島大学の春休みを利用して参加したフレンズ・国際・ワークキャンプで子どもたちと食べた「むぎめし」。そして子どもたちの優しさや逞しさに感銘を受けたことから、知的な障がいのある人たちの支援活動に身を置くようになる。

1964年、同大を休学し福山市田尻町の海岸に一軒家を借りて作業所（あんずの家）を開設。作業所運営に取り組みながら全国行脚を行い、そこで出会ったナース（表紙参照）の素晴らしさに感動し、「この道を歩み続ける」決意をした。その後、スリッパ工場で働きながら運営費を稼ぎつつ同大に復学し卒業を迎えた。

1970年、福山六方学園に入職し、以降障がいのある人たちやその家族の求めのまま、誰でも参加できる地域に開かれた施設や制度作り、広島県知的障害者福祉協会及び福山手をつなぐ育成会の設立や活動等に携わる。その中で、障がいのある方の芸術的な感性に惹かれ、同市鞆町に「鞆の津ミュージアム」をオープン。「アート活動」を通じて命の素晴らしさを学び、「作品はその人の命」「作品は人を選ばない」「作品が輝けば人も輝く」との信念から作品を世の中に向けて発信し続けている。

### 中国社会学功労賞とは

長年にわたって地域の社会福祉に尽力された中国地方の方々を、毎年秋、福祉事業の一層の発展を期して顕彰しています。受賞者・団体は、中国地方の各県および広島市から候補の推薦を受けて、審査委員会を開いて決定しています。1956年（昭和31）年に賞を設けて以来、2020年で65回を数え、これまでに311人と5団体が表彰されています。

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) ☒ [fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp](mailto:fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp))

- 事業所一覧
- 福山六方学園（障害児入所施設）（障害児短期入所事業）（日中一時支援事業）
- あゆみ苑成人寮（障害者支援施設）（生活介護事業）（短期入所事業）（日中一時支援事業）
- サポートセンターひびきの家（共同生活援助事業）
- サポートセンター友の家（共同生活援助事業）
- サポートセンターかなで（日中サービス支援型共同生活援助（短期入所）
- さわらび（生活介護事業）（日中一時支援事業）
- ヘルパーステーションあしすと（居宅介護・行動援護事業）（移動支援事業）
- ONE-すてつぷ（児童発達支援事業）（放課後等デイサービス）（日中一時支援事業）（障がい児療育等支援事業）
- ふあんたす（放課後等デイサービス）
- 相談支援センター風ぐるま（一般相談支援事業）（特定相談支援事業）（障がい児相談支援事業）
- さくら（就労継続支援B型事業）（生活介護事業）

### あとがき

全国的に新型コロナウイルスの陽性者数が落ち着いてはいますが、油断せず感染症対策に気をつけながら、季節の行事や強歩などをできる範囲で行いました。一日でも早く活動や行事が全力で楽しめる日が来る事を願っています。

（編集スタッフ一同）



**さわらび**

今年もさわらびでは勤労感謝の集いを行い、三名の方が表彰されました。さわらび・きらりでは創作活動や音楽活動など、皆さんが楽しめる活動を毎日計画しており、一つひとつの活動に積極的に取り組まれている姿や活動の中で見られる笑顔に、スタッフも元気をもらっています。コロナ禍という事もあり外出などに制限を設けたり、極力「密」を避けながらの活動の中で利用者の皆さんが、楽しく笑顔になれるよう取り組んでいます。この度表彰を受けた三名の方もさわらびを休む事なく、活動も積極的に取り組まれています。今回表彰状・記念品を受け取る姿は少し照れ臭そうな反面、自信に溢れた姿にも見えました。この姿を見た事で、他利用者さんの刺激にもなり、私たちスタッフの支援のモチベーションも「グッ!」と上がりました。

今後も支援の充実を図り、利用者の皆さん、スタッフ一同、そしてさわらびに関わる全ての人で、笑顔が溢れる楽しいさわらびを創ってきたいと思います。

さわらび 井伏 駿一朗



### 勤労感謝の集い



一月三日(火)にあゆみ苑成人寮の多目的室にて勤労感謝の集いを行いました。まず西山理事長が中国新聞社会事業団より、第六六回中国社会事業功労賞を受賞されたことが発表されました。次に職員永年勤続表彰があり、勤続五年から最長四〇年という長きにわたり勤務してこられた総勢四四名の職員に西山理事長より表彰状と記念品が授与されました。最後に被表彰者代表として山口慎平さんが謝辞を述べられました。謝辞にもありましたが、支援をしていく中で戸惑う事や困難があります。仲間同士助け合い、利用者さんの生活を支えていければと思います。

福山六方学園 湯淺 晋吾

### あゆみ苑成人寮



一月三日、あゆみ苑成人寮の多目的室にて、勤労感謝の集いが行われました。まず、西山理事長から、日頃よく頑張っていること、健康に過ごされていることをお祝いされ、ご挨拶を頂きました。表彰式では、和グループ、響グループといった各グループ、各棟から一名ずつの表彰される利用者さんが呼ばれ、きつちりとした服装に身を包み、西山理事長からご紹介を受けながら嬉しそうに賞状と記念品を受け取られていました。被表彰者を代表して、あゆみ苑男子棟の七森友也さんから、「みなさんのおかげです」「ありがとう!」との挨拶がありました。

あゆみ苑成人寮 山下 和朗

### 企画展情報

#### 鞆の津ミュージアム『きょうの雑貨』



鞆の津ミュージアムでは11月13日(土)、企画展『きょうの雑貨』を開催しました。本展は、福祉の現場で生まれた様々な製品を一堂に集めて、お伝えするものです。アクセサリ・バッグ・食器・文房具・お菓子などなど、身につける・ものを入れる・食べる・綴る・飾る・遊ぶ・贈る...ことのできる様々な雑貨。絵画/刺繍/木工/陶芸/紙物/版画/染色・その他もろもろ、全国にある64の施設や家庭からは、作品を素材として生かした約1,000点の多彩なグッズが届きました。

館内のショップスペースでは、それぞれお買い求めいただくことも可能です。日々の暮らしでつくられる創作物とそれをケアする支援者のアイデアや手仕事为重なりあって生まれた、〈福祉〉をひらくたのしい雑貨の数々。会期は2022年の3月6日(日)まで。この機会に、ぜひどうぞご覧ください。

鞆の津ミュージアム 津口 在五

#### さくら『虹の手織り展』



『虹の手織り展』は、「ふくやまSAORI研究会」から「さをりひろば工房まち」が引継ぎ、社会福祉法人創樹会さくらとして開催する初めてのイベントで、この度で第31回目を迎えます。これまでに出席下さいました団体には、あんずの家、ここにこ福祉会、ゆめの木・わかば、さをり会、早島町地域活動支援センター(岡山県)、第2青い鳥(大阪府)、吉野川育成園(徳島県)が開催に向けご協力下さいました。

新型コロナウイルス感染症の心配もある中ではありますが、感染症対策を十分に行いながら、天満屋福山店8階シティギャラリーにおいて、2022年1月18日(火)～23日(日)午前10時～午後7時(最終日午後6時)に開催いたします。

さをり織りは、織り手が違うと出来上がりの布が全く違います。今までにないさをり織りや小物たちに出会えるチャンスです。ぜひ、お気に入りの見つけにご来店下さい。

さくら(さをりひろば工房まち) 中井 礼子

### ヘルパーステーションあしすと 移転しました

令和4年1月1日より、ヘルパーステーションあしすとが卸町から水呑町へ移転しました。初期の事務所を彷彿させるような地域の中に移転しており、我々ヘルパーとしてはこれを機会に初心に戻り、「地域生活の中で自分らしく生きる」というテーマを改めて問い直し、利用される皆様が必要とするサポートを行って参ります。

新しい住所・電話番号は下記の通り、変更されております。ご不明な点等ございましたら、090-5701-6831(管理者・黒田)までご連絡ください。(ヘルパーステーションあしすと 黒田 将義)

住所 福山市水呑町279番地1  
電話番号 084-959-6676



### サポートセンター友の家

一月二日に、友の家の集会所で感謝の集いを行いました。この感謝の集いは、友の家独自のイベントです。本来は会場を借り正装で参加し、会食やカラオケ・ビンゴゲームだけでなく、一年間の生活態度や職場の出勤数を基に、皆勤賞をはじめとする四つの賞の表彰を行っています。しかし今年もコロナ禍のため、集会所での表彰のみを行い、各ホームでの折詰弁当の会食となりました。

今回は昨年と同様、遠出や日常の外出も制限された中でしたが、『皆の頑張りを称えたい』との思いから、二〇二二年特別賞を新たに作りました。表彰式の後で、利用者の方から「まさか貰えるとは思わなかった。」と喜びの声を聴く事ができました。来年も笑顔で集いが迎えられるよう一緒に頑張っていきたいと思います。

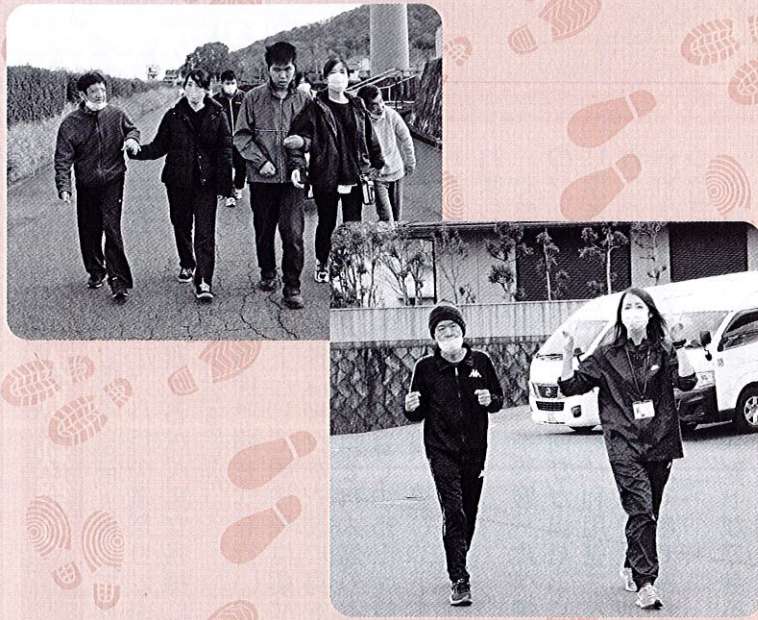
サポートセンター友の家 塩出 朗

### 福山六方学園

一月三日に勤労感謝の集いを行いました。福山六方学園は、勤労ではなく学校で頑張られた意味を込めています。

今年度は沼隈特別支援学校高等部三年生の宮本知明さんが表彰されました。他の利用者の方や、職員が大勢いる中で緊張の面持ちの表彰式でした。まずは勤労感謝の集いとはどのような行事なのか澤田施設長より説明があり、次にケース担当から表彰理由を発表され、賞状と記念品が贈呈されました。表彰者の宮本さんは職員一人ひとりに感謝の言葉があり、「表彰されてとても嬉しかった」との感想もありました。他の利用者の中には、「来年は自分が表彰されたいな」と話す姿もあり、素敵な勤労感謝の集いとなりました。

福山六方学園 野元 亜衣



**さわらび**  
 さわらび・きらりでは、二月一五日に耐寒強歩を行いました。今年度は新型コロナウイルスに伴い沢山の行事が中止になる中で寂しい一年となりました。その中でも、耐寒強歩については、感染対策を行い開催することになり喜ばれる声が聞かれています。強歩月間が始まる一月に入ると、「強歩月間になった？今日は〇〇まで歩くよ」と強歩に向けて気合を入れる利用者の方もおられました。  
 さわらび・きらりでは、地域の公園の往復コースと竹ヶ端運動公園にて平地歩行のコースに分かれて開催しました。二月に入り気温がぐっと下がりが寒い中での開催となりましたが、距離を歩くにつれて皆さん身体も温まり寒さを忘れて気持ち良く歩き切る事ができました。

さわらび 神川 知也



**サポートセンターびぎの家ホームふじ**  
 ホームふじでは耐寒強歩に向けて、お休みの日にホームの前を歩いたり、室内で歩行の練習をされたりと、皆さん一生懸命頑張っておられました。今年の強歩は少人数で分散して行うということで、その日歩かれる利用者へ「頑張ってるね。」とスタッフ皆で声を掛けて送り出しました。帰って来られると、皆さん「ニコニコと、疲れを感じさせない笑顔で「歩いたよ！」と完歩賞を見せてくださいました。居室に飾ったり、お母さんに見せたいからと大事に取っておいたり、皆さんそれぞれ大切にされています。  
 耐寒強歩に特別な思いを持たれている利用者もおられ、利用者全員の達成感のある表情を見ると、今年は耐寒強歩が開催されてよかったなと思います。  
 利用者の皆さんの気持ちはすでに、クリスマス、お正月、たくさんのごちそうのことでいっぱいなのですが、強歩で鍛えた強い心と体で、残りわずかな今年を、元気に過ごしていきたいと思えます。

ホームふじ 芹田 侑里

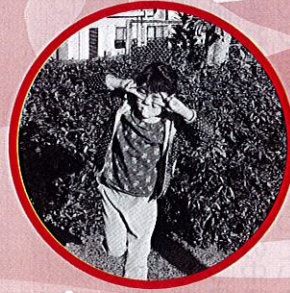
**家族会 清掃**  
 一月一四日(日) 一〇時から福山六方学園 家族会で法人本部周辺の清掃を行いました。今年には二名の参加となり、登園道の桜や銀杏などの落ち葉や枯れ枝を拾ったり、斜面の草刈りを行ったりと広い範囲の清掃となり、開始時は寒さを感じていましたが、終わるころには汗はむぼむぼと出ていました。  
 登園道をはじめ、憩いの広場などとても綺麗にしてくださいました。家族会の皆さま、本当にありがとうございました。

事務局 岡崎 勇輝

**ONE-すてっぴん**  
 福山六方学園の伝統行事である「強歩」。児童通所部門のONE-すてっぴんでは、子ども達もスタッフも応援として参加していますが、実際に一日強歩で長距離歩行をしたり、宿泊強歩に参加したりすることはありません。  
 毎年各部署の新任スタッフは、試歩をすることで、まず自分自身で歩くスピード等の実際の体感しています。今年の試歩は法人全体で行わず各部署で...ということになったため、ONE-すてっぴん・ふあんたすではスタッフ六名で実施しました。強歩経験スタッフを先頭に、御町のONE-すてっぴんを出発し、水呑町の法人本部へ。そしてまたONE-すてっぴんへ戻ってくるという約八キロを歩きました。  
 初めて試歩に参加したスタッフは、思いのほか速いペースに、普段利用している子ども達との散歩とは全く違うということを感じたようです。見るだけ聞いただけではなく、実際に体験することでは分からない感覚があることが伝わったのではないかと思います。また長距離を歩く苦しさは共有しながら、励まし合いながら歩き切る達成感は、積み重ねた練習から生まれることも伝えていかねばなりません。

ONE-すてっぴん 中常 克彦

**福山六方学園 一日強歩での利用者さんたち**



**各施設の強歩**

12月12日に強歩の開催を予定していましたが、今年度も新型コロナウイルスという危険があり、利用者さん、職員の安全を確保することが難しいということから全体での強歩を中止し、各部署で強歩行事を行うことになりました。



**あゆみ苑成人寮**



あゆみ苑成人寮での今年度の耐寒強歩は、二月一日から数日かけて、日程を分散しての実施となりました。強歩当日に向けて、スタッフと共に外を歩いて体づくりをされている方々も多くおられました。寒さに負けないよう、皆さんしっかりと防寒し、安全と健康に十分の配慮をして練習されていました。  
 その成果があり、皆さん無事に耐寒強歩を完歩され、笑顔で表彰状を受け取っておられました。  
 今年と同じように、来年度の耐寒強歩でも完歩していただけたら嬉しく思います。

あゆみ苑成人寮 佐藤 裕樹

**職員試歩**

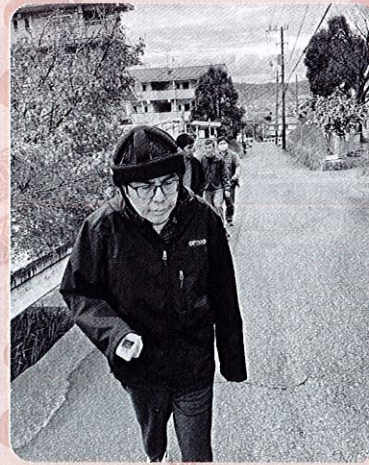
強歩行事の前に各部署で創樹会の新任職員による職員試歩を行いました。例年と違い新任職員が本部に集まらず、各部署で密にならないように行いました。  
 職員試歩とは今年度の新任職員に耐寒強歩とどのような行事なのか、説明し実際に歩いてもらう行事です。新任職員は強歩の説明を聞き、六〇年続いている行事だと聞くことも驚いていました。  
 また、一日強歩を各部署で行うことになったとしても、利用者さんは安全を考慮した上で練習を行っています。また、強歩期間というものがありません。一月一日から来月二月中旬までを強歩期間としてその期間は頑張る練習をしましょうという期間です。この期間でしっかりと歩き、皆さんコロナに負けずにこれからも頑張る練習をしていきます。

あゆみ苑成人寮 志田 大明

**サポートセンターかなで**

かなでのある白萩地区を中心に耐寒強歩を行いました。かなでは比較的若い方が多く、もっと歩きたい、遠くまで歩きたいと、寒さに負けずエネルギーが溢れていました。利用者、スタッフが集まって隊列を組んで互いに励まし合いながら歩きたいところではありますが、もう少し先になりそうです。暖房が聞いた中で過ごす事が当たり前になってきましたが、一歩外に出るとみなで「寒いなあ」と言いながら季節を感じられます。耐寒強歩の目的にもあるように、交通规则を守りながら安全に、地域でお会いする方に元気に挨拶したり、健康を維持して、来年の強歩につなげて行きたいと思えます。

サポートセンターかなで 枝廣 正寛





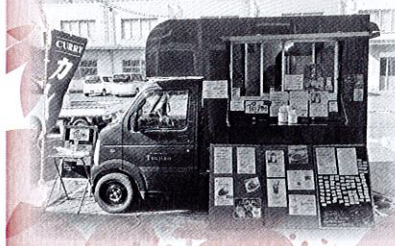
**さくら 紅葉狩り**

「温かい物が食べたい。」草(くさ)紅葉(もみじ)が始まりかけた頃、一人の芽した言葉が皆の共感を覚えることになりました。

新型コロナウイルスにより縮小された行事は、食事無しのお弁当。テイクアウトで持ち帰った木力木力のお弁当が、食べる頃には冷や飯になっていました。「温かい物が食べたい」に込めたい。喜び表情が見たい。そんな思いに、キッチンカーの依頼を決めました。一事業所の行事に快諾して頂けたのは、骨付きチキン&トマトの絶品カレーで有名な、カレー屋「Tsuji no. (つじの)」さん。玄関先に横付けされたキッチンカーに、一同大盛り上がり。零れる笑顔と「うまいー」の多さにチャレンジして良かったと思える試みでした。

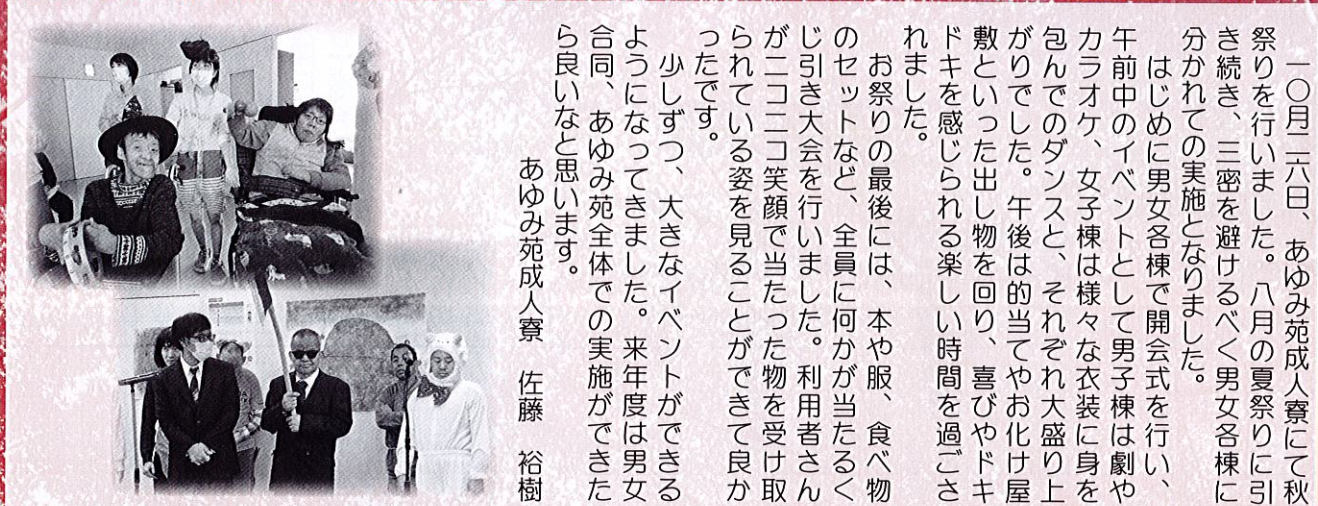
さて、本題の紅葉狩り。目的地の井原市は好天に恵まれ、見事な朱色の木々に、山慣れた福山っ子でも、ちょっと感動。現地で有名な鳴門鯛焼きをおやつに、おいしい一日となりました。

さくら 川本 直弘



# 学園の秋

## あゆみ苑成人祭 秋祭り



一〇月二六日、あゆみ苑成人祭にて秋祭りを行いました。八月の夏祭りに引き続き、三密を避けるべく男女各棟に分かれての実施となりました。

はじめに男女各棟で開会式を行い、午前中のイベントとして男子棟は劇やカラオケ、女子棟は様々な衣装に身を包んでのダンスと、それぞれ大盛り上がりでした。午後は的当てやお化け屋敷といった出し物を回り、喜びやドキドキを感じられる楽しい時間を過ごされました。

お祭りの最後には、本や服、食べ物、セッティングなど、全員に何か当たるくじ引き大会を行いました。利用者さんがニコニコ笑顔で当たった物を受け取られている姿を見ることができて良かったです。

少しずつ、大きなイベントができるようになってきました。来年度は男女合同、あゆみ苑全体での実施ができた良いなと思います。

あゆみ苑成人祭 佐藤 裕樹

## さわらび ハロウィン



今年も一〇月二九日にさわらび・きらりで「ハロウィン」を開催しました。パーティーが始まる前にはさわらび・きらりで交換するお菓子を利用者の皆さんで準備しました。準備する時には「このお菓子を喜んでくれるかな、向こうは何のお菓子をくれるかな?」とワクワクしていました。その後、皆さんが思い思いの衣装をして「似合ってる、面白いじゃろ」と楽しい表情で話していました。

いざ、ハロウィンパーティーが始まると、さわらびの方はきらりへ、きらりの方はさわらびへ移動し、お互いの衣装を見せ合った後に大きな声で「トリック・オア・トリート」と伝えてお菓子を交換しました。

各部屋に戻り、お菓子が入っている袋を開けてみると「チョコパイじゃ、コアラのマーチじゃー」と興味津々でした。

最後にはみんなでお菓子を分け合っ、おやつ時間に美味しくいただきました。年に一度のイベントを全力で楽しみました。

さわらび 中川 梓志

## 福山六方学園 ハロウィン

今年度は「ハロウィンに食べたいお菓子」をテーマに自治会を開き、子どもたち一人ひとり食べたいお菓子を話し合いました。ある子は「じゃがりこがいい」と言い、他の子は、「グミとかチョコがいい」と話してくれ、三日がとても待ち遠しい日になりました。

当日は、みんなでハロウィンパーティをイメージした飾りつけを行ない、衣装をしていきました。パーティーが始まると、みんながリクエストして楽しみにしていたお菓子がでて、とても良い笑顔が見られました。中には職員に「このお菓子を買って欲しくて良かった」と言ってくれた子どももいて、職員としても、この行事を担当して良かったと感じました。

最後は「歌を歌いたい!」と歌を披露してくれたり、「ダンスをしたい!」とリクエストがあったので、パブリックを可愛い衣装をしたまま踊って締めくくりました。

福山六方学園 實政 佑太

## 児童発達支援すてっぷ 園外療育

新型コロナウイルスの影響から、色々な制約の中で療育活動を続けてきましたが、ようやく今年度初の親子行事を行うことができました。子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さんにも肩の力を抜いて楽しんで欲しいことから、秋の恒例行事となっています。いちごクラスは「笠岡恐竜公園」、りんご・みかんクラスは「福山動物園」へ出かけました。

先に集合場所待っていると、家族一緒に集まってくる子どもたちが見えます。少しモジモジして照れくさそうに來たり、誇らしげに來たりと様々です。離れた場所から友だちや先生の姿を見つけて笑顔で走り寄ってくる子どももいます。どの姿もなかなか目に出ない貴重な姿です。広い園内を大好きな家族や友だち、先生と一緒に散策し、楽しそうなお声があちこちで聞こえました。子どもたちにとって特別な一日になったことでしょう。

保護者の皆さんにとっては、初顔合わせの日となった方も多く、少し気を使われたかもしれませんが、子どもたちのために沢山歩き、沢山遊んで下さって有難うございました。普段とは一味違う子どもたちの姿を見ることができ、私たちにとっても特別な一日となりました。

児童発達支援すてっぷ 松岡 正治

## 福山六方学園に介護ロボットが来ました

(介護ロボット導入の経緯)

福山六方学園の短期入所利用者(以下Aさん)に、歩行困難な方がいます。Aさんの利用日数が増加するとうタイムングで、福山市から介護ロボット導入に対する意向調査のお知らせがあったことが導入のきっかけです。移動支援中の怪我や職員の不安を軽減するために活用できるロボットを探し、移乗サポートロボット「Hug」を見つけました。今後必要になる可能性があると思い、福山市に導入の希望があると返事をしました。

(「Hug」デモ機を使用してみました)

介護ロボットの導入にあたり、Aさんの短期入所に合わせデモ機を使用してみました。移乗サポートのロボットを使うことをAさんに伝えると大好きな水色に喜び、使用した時は「車に乗ってるみたい、ブーン」と言っていて怖がることなく楽しんでいました。腰痛持ちのスタッフもいましたが、「Hug」の使用で安楽に支援が行えるとの意見でした。

介護ロボット導入の申請を行ない、福山市より介護ロボット導入の補助金交付決定通知書が届き、福山六方学園に移乗サポートロボット「Hug」が来ました。ロボットにはAさんが「車のくるちゃん」と言う名前をつけてくれました。ロボット到着後、残念ながらコロナ禍で出番の少ない状況ですが、Aさんとスタッフのために活躍してくれると思います。

看護師 渡壁 玉喜



## ありがとうございました (2021.10.1~2021.12.31)

\*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)

\*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

### ご寄贈・ボランティア訪問

ボランティア ご寄贈  
・関係者4名 ・部谷礼子 ・株式会社福山冷機

### 実習生・交流

実習生	保育士	10月 8日~10日間	福山市立大学	2名
		10月19日~10日間	福山市立大学	3名
		10月30日~10日間	福山平成大学	2名
		11月 8日~10日間	福山市立大学	3名
		11月22日~10日間	福山平成大学	3名
		12月 2日~10日間	福山平成大学	3名
		12月12日~10日間	福山平成大学	3名

## 今後の予定

※新型コロナウイルスの影響により、各種行事の開催も不確定となっております。

### あゆみ苑

1月...とんど  
2月...節分

### 児童園

1月...餅食べ大会  
初詣(年始は避け、計画を立てて行く)  
2月...節分  
2月...ひな祭り、退所式